

富山県石川県境付近のハネナガイナゴ

著者	根来 尚
雑誌名	富山市科学博物館研究報告
号	40
ページ	95-96
発行年	2016-06-20
URL	http://repo.tsm.toyama.toyama.jp/?action=repository_uri&item_id=1044

短 報

富山県石川県境付近のハネナガイナゴ*

根来 尚

富山市科学博物館

939-8084 富山市西中野町一丁目8-31

Records of *Oxya japonica* in Oyabe-shi, Toyama Prefecture and the neighborhood

Hisashi Negoro

Toyama Science Museum

1-8-31 Nishinakano-machi, Toyama-shi,

Toyama 939-8084 Japan

はじめに

ハネナガイナゴの富山県での記録は、砺波市苗加での戦前のものが唯一であり(根来・瀬川, 1988), 「レッドデータブックとやま 2012」(富山県, 2012)において、絶滅危惧 I 類とされている。

本種が、以下のように富山県西部の石川県境付近で採集されたので報告する。併せて、石川県側での採集記録も報告しておく。

採集記録

ハネナガイナゴ *Oxya japonica* (Thunberg, 1824)

富山県

- 氷見市脇の谷内, 2015年9月11日, 2♂ (根来)
- 氷見市棚懸, 2015年9月11日, 1♂1♀ (根来)
- 高岡市西海老坂, 2015年9月11日, 1♂1♀ (根来)
- 高岡市頭川, 2015年9月11日, 1♀ (根来)
- 高岡市佐加野, 2015年9月11日, 1♀ (根来)
- 高岡市福岡町沢川, 2015年9月5日, 1♀ (根来)
- 高岡市福岡町石堤, 2015年9月11日, 1♀ (根来)
- 高岡市福岡町上向田, 2015年9月5日, 1♂1♀ (根来)
- 小矢部市森屋, 2015年9月5日, 1♂ (根来)
- 小矢部市嘉例谷, 2015年8月22日, 1♀ (根来)
- 小矢部市宮須, 2015年9月5日, 1♂1♀ (根来)
- 小矢部市安楽寺天田峠東側, 2015年8月22日, 1♂1♀ (根来)
- 小矢部市石坂, 2015年8月28日, 1♀ (根来)
- 小矢部市内山, 2015年8月28日, 1♂ (根来)

- 小矢部市小森谷, 2015年8月28日, 1♀ (根来)
- 南砺市福光町砂子谷, 2015年8月28日, 1♂ (根来)

石川県

- 宝達志水町沢川, 2015年9月5日, 1♂1♀ (根来)
- 津幡町上河合, 2015年8月22日, 1♂ (根来)
- 津幡町種, 2015年8月22日, 1♂1♀ (根来)
- 津幡町九折天田峠西側, 2015年8月22日, 1♂1♀ (根来)
- 津幡町越中坂, 2015年8月28日, 1♀ (根来)
- 津幡町南中条, 2015年8月22日, 1♂1♀ (根来)
- 金沢市南千石町, 2015年8月28日, 1♂ (根来)

コバネイナゴ *Oxya yezoensis* Shiraki, 1910

富山県

- 氷見市熊無, 2015年9月11日, 1♀ (根来)
- 氷見市余川, 2015年9月11日, 1♂ (根来)
- 氷見市宮田, 2015年9月11日, 1♀ (根来)
- 氷見市久目, 2015年9月11日, 1♂ (根来)
- 氷見市布施, 2015年9月11日, 1♀ (根来)
- 高岡市長江, 2015年9月11日, 1♀ (根来)
- 小矢部市水落, 2015年9月5日, 1♀ (根来)
- 小矢部市矢水町, 2015年9月5日, 1♂ (根来)
- 小矢部市道林寺, 2015年9月5日, 1♂ (根来)
- 小矢部市戸久, 2015年9月5日, 1♂1♀ (根来)
- 南砺市福光町小山, 2015年8月28日, 1♂ (根来)
- 南砺市福光町祖谷, 2015年9月5日, 1♂ (根来)
- 南砺市福光町土生新, 2015年9月5日, 2♂ (根来)
- 南砺市城端町千福, 2015年9月5日, 1♂ (根来)
- 砺波市鷹栖, 2015年8月27日, 1♀ (澤田憲男)
- 朝日町笹川, 2015年9月20日, 1♂1♀ (折谷禎一)
- 富山市黒瀬, 2015年9月15日, 1♂1♀ (藤永喜吉)
- 富山市大沢野町寺津, 2015年9月26日, 1♂1♀ (折谷禎一)

以上の採集地点の内、朝日町と富山市の3地点は図2には記入していない。

生息地概要

今回のハネナガイナゴ調査のきっかけは、IR石川鉄道の津幡駅構内で本種個体を数頭目撃(2015年8月15日~21日)したことで、近隣の水田での発生が考えられたことである。

8月22日には、6カ所の水田を調べた。津幡町南中条では、一部の水田ではあるがその畦を数m歩行すると本種が20個体ほど目撃されその一部個体を採集した。同日、

* 富山市科学博物館研究業績第499号

富山県境付近での状況を見るため、天田峠付近の津幡町九折と小矢部市安楽寺、より北方の津幡町種、同上河合、小矢部市嘉例谷の水田を調べたが、一部の水田で同様な様子であった。8月28日、9月5日および9月11日にはより広い範囲で調査を行なった。これらの場所では一部の水田から少数のイナゴ類が見られ、場所によってハネナガイナゴもしくはコバネイナゴが得られた。また、砺波市鷹栖の資料を澤田憲男氏から、朝日町と富山市の資料を折谷禎一氏と藤永喜吉氏から提供いただいた。

結果は上記のとおりで、富山県西部の石川県境付近の丘陵地沿いの水田でハネナガイナゴが確認されたが、その生息範囲はまだ充分明確とは言えない。

ハネナガイナゴは、近年増加しているとの報告がでてくるようになり（楠，2008），栃木県ではコバネイナゴに変わって優先する水田が多くなっている（長谷川，2015）とのことである。その要因も上記文献で分析されている。

富山県への南方系昆虫の侵入経路と考えられる3カ所、石川県境の氷見市から小矢部市にかけて、岐阜県境の神通川沿い、新潟県境の海岸沿いの内、ハネナガイナゴは現在のところ石川県境からのみ採集されたが、今後も本種に注目する必要があると思われる。

文献

長谷川純一，2015. 栃木県におけるハネナガイナゴの増加とその原因. 月刊むし，528：43-47.
 楠 幹生，2008. 香川県でのハネナガイナゴの多発要因. 農林害虫防除研究会 News Letter，21：4-5.
 根来 尚・瀬川哲夫，1988. 富山県の直翅類（I）. 富山市科学文化センター研究報告，12：37-95.
 富山県，2012. 「富山県の絶滅のおそれのある野生生物ーレッドデータブックとやま2012ー」 富山県生活環境文化部自然保護課.

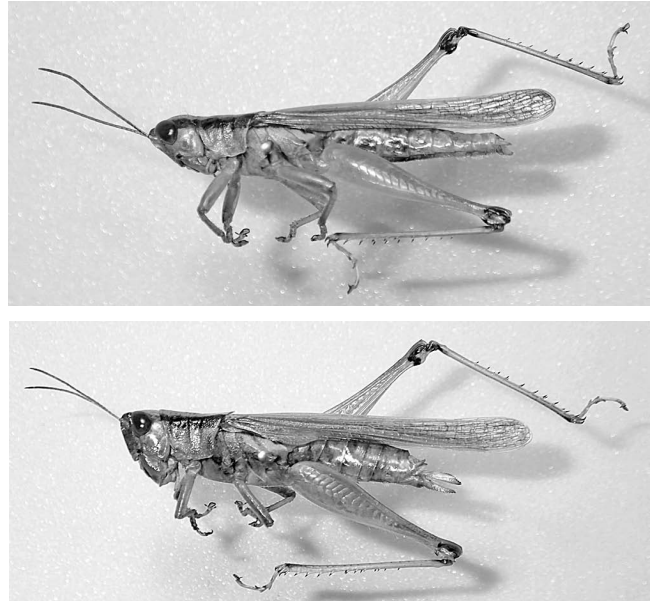


図1 小矢部市安楽寺産ハネナガイナゴ♀（上）コバネイナゴ♀（下）

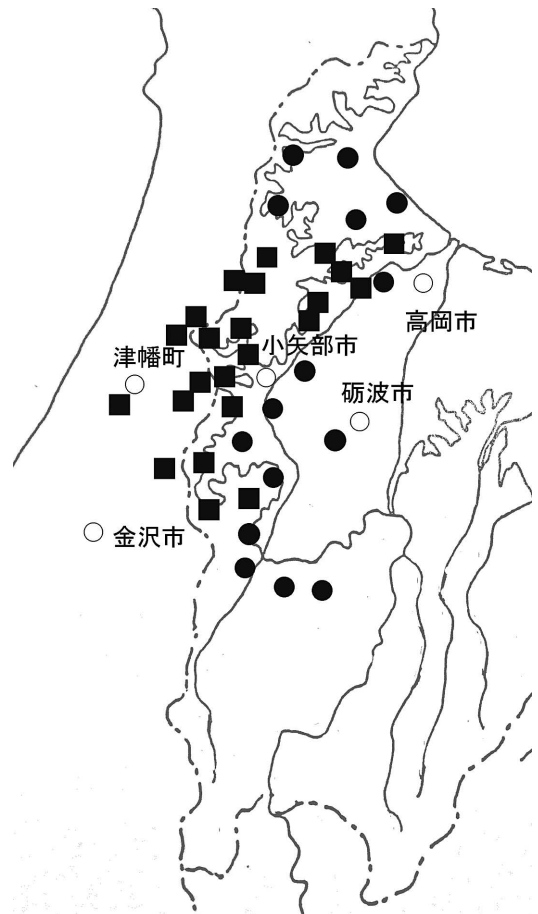


図2 採集地
 ■：ハネナガイナゴ，●：コバネイナゴ
 富山県内での標高100mを示しておいた。